

1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全

めざす姿 ○優良農地が確保され、農業環境が保全されている。

	推移			目標				
	H24	H25	H26見込	H27	H28	H29	H30	H35
農振農用地面積 単位=ha	1,890	1,883	1,882	1,880			1,878	1,860
遊休農地面積 単位=ha	36	34	33	30			0	0

27年度のポイント ① 農業生産基盤、農村災害対策の推進
② 優良農地の確保と適正な土地利用の推進

① 農業生産基盤、農村災害対策の推進

【予算額 237,167千円】

水田の利活用促進に必要な基盤整備を進め、営農条件を改善し農作業の効率化を図ります。また、老朽化した農業用施設の改修・改良を促進し、施設の耐震化、維持管理の低減に努めます。

【主な事業】

□ 農地事業

- ・ 多面的機能支払交付金事業

拡大

69,701千円

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。 平成27年度対象農地：約770ha



共同活動による水路の草刈の様子



破損したゲートの修繕

□ 農業基盤整備事業

- ・ 基盤整備促進事業(北原地区)

新規

15,000千円

基盤整備事業により、漏水対策、農道の復旧を実施します。

漏水対策：30a 農道復旧：150m

- ・ 県営圃場整備事業（宮ノ前地区）

新規

25,297千円

農地形状の整形、また耕作道路、水路を整備することにより地域内の営農条件を改善し、農作業の効率化を図ります。 対象農地面積：約20ha



圃場整備されていない農地の状況



圃場整備により営農条件が改善された農地

□ 農村災害対策整備事業

・農業農村整備事業

新規

31,000千円

農業施設に起因する災害を未然に防ぐため、施設の点検調査・補修を実施します。

高速道路水路橋 点検調査:2橋

ため池 点検調査:5か所

・農村災害対策整備事業

継続

12,880千円

用水路、ため池の面的な改修を実施し、防災機能の向上を図ります。

下の井、大沼池の改修

H26補正 60,000千円 うち駒ヶ根市負担金 9,600千円

大沼池改修 H27 20,500千円 うち駒ヶ根市負担金 3,280千円



駒ヶ根池(改修前)



駒ヶ根池(改修後)

□ その他事業

継続

83,289千円

・市単緊急防災事業、公共水域維持管理事業、市単農業土木事業等

② 優良農地の確保・適正な土地利用の推進

継続

【予算額 501千円】

農地中間管理機構・農地利用集積円滑化事業・農業情報支援システムなどの活用により、農用地の利用集積の一層の促進と耕作放棄地の解消を図りながら、農地の効率的な運用規模拡大の支援と農作業受委託を進めます。

農用地を有効に利用するため地域全体の合意に基づく利用調整を図るとともに、農業振興地域整備計画にそって農用地の保全などを行うため、土地利用の適正化を推進します。

□ 農地利用集積円滑化事業

□ 農業振興地域整備事業

□ 遊休農地など解消推進事業

□ 耕作放棄地再生利用促進事業



農地パトロールの様子



小学生による農作業体験

2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農業の創出

めざす姿 ○農業で暮らし、農業を楽しむ農村社会が形成されている。

	推移			目標				
	H24	H25	H26見込	H27	H28	H29	H30	H35
新規就農者数（累計） 単位=人	10	11	12	13			15	20
認定農業者などへの農地利用集積 単位=ha	257	253	262	270			300	330

26年度の
ポイント ① 地域営農の推進
② 農業の安定運営への取り組み

① 農業生産組織の機能強化

継続【予算額 17,662千円】

望ましい農業構造を確立するとともに農業生産組織の機能強化を図ります。
営農センター機能の指導体制強化により、集落営農組織の法人化を推進します。

- ☐ 地区営農組合等地域営農組織の強化
- ☐ 米生産調整の推進
- ☐ 農地中間管理機構を活用した農地集積の推進
- ☐ 機械作業体系の再構築

② 多様な担い手や後継者の育成確保対策の推進

継続【予算額 10,669千円】

農業の活性化を図るため、中核となる多様な農業経営体の育成と後継者及び新規就農者の確保、育成を推進します。

- ☐ 担い手育成の推進
- ☐ 農業制度資金利子補給
- ☐ 新規就農者支援
- ☐ 新規就農準備校開校

新規就農準備校



③ 活力ある産地形成

継続【予算額 6,629千円】

- ・ 需要に応える供給体制を整備するとともに、技術開発と普及により安定経営と自然にやさしい農業を推進し、広域的な交流に繋げるとともに、都市との交流体験と魅力的な地域農業の創出を推進します。
安全安心な食糧生産の普及と消費者ニーズに即した振興作物の栽培促進、ごま及び在来種・伝統食を中心とした信州大学農学部との協同研究を進めます。



在来種・伝統食調査



- ☐ 振興作物、特産品等の開発支援
- ☐ 自然農法等特色ある農業研究支援
- ☐ 伊那谷アグリイノベーションとの産学官連携

- ・ 地元産の二条大麦を原料にした高付加価値を持つ地域ブランド「プレミアムビール及びウイスキー」の製造体系確立と商品化に **新規**【予算額 500千円】
【H26補正 地方創生交付金分】
向け、駒ヶ根市、宮田村、地元酒造業者、JA、信州大学が連携した取り組みを推進します。

④ 6次産業化の推進

新規【予算額 1,500千円】

【H26補正 地方創生交付金分】

6次産業化に向けた付加価値を高めるための研究を基に、地域資源を活かした特産品づくりや新商品の開発、販路開拓や流通体制の整備等、地域における6次産業化の推進を支援します。

☐ 地域6次産業化推進補助金

☐ 農商工連携の推進



地域ぐるみの6次産業化への取り組み

⑤ 農村地域の活性化

継続【予算額129,259千円】

- ・ 中山間地域の振興と地域ぐるみの農村環境の保全、農業・農村の持つ多面的・公益的な機能を発揮するため、農業と共生できる地域社会を構築します。

☐ 中山間地域等直接支払事業

☐ 交流連携事業

☐ シルクミュージアム運営事業

☐ 駒ヶ根ふるさとの家運営事業



地元農産物PR販売



まゆクラフト体験



ふるさとの家全景

- ・ シルクミュージアム・ふるさとの家を中心とする竜東観光エリアへの新たな人の流れを作るため、ふるさとの家を「運び湯による温泉施設」とするとともに、セミナーハウスの機能強化と周辺景観の整備により、観光中核施設とする。また、「絹の道広域連携プロジェクト」に参画し、関係団体と連携しながら駒ヶ根市を世界へ発信する。

新規【予算額 4,500千円】

【H26補正 地方創生交付金分】

⑥ 有害鳥獣駆除対策の推進

継続【予算額 2,945千円】

有害鳥獣による農作物の被害を減少させるため、関係機関や組織と協力して、効果的・効率的な駆除対策に取り組みます。

☐ 有害鳥獣被害対策事業の推進

☐ 農作物災害対策の推進



有害鳥獣一斉駆除

3 暮らしを守る森林の生産と多面的機能の増進

めざす姿

- 森林のもつ多面的機能が享受されている
- 地域資源として森林を有効に活用し、森林と人とが共生できている

	推移			目標				
	H24	H25	H26見込	H27	H28	H29	H30	H35
森林整備面積 単位=ha	49	95	112	56	60	70	75	100
松くい虫被害枯損木処理量 単位=本	1,436	833	1,300	1,300	1,250	1,250	1,230	1,000

- 27年度の
ポイント
- ① 森林整備(除間伐)の促進
 - ② 林道開設・改良事業の推進

① 森林整備の計画的な推進

【予算額 71,223千円】

森林のもつ多面的機能を持続的に発揮できるよう、計画的な森林整備を進めます。

【主な事業】

□ 森林整備促進対策事業

継続

2,300千円

森林づくり県民税活用事業等により森林整備を促進します。

- 内容:
- 間伐事業嵩上げ補助 国県の補助金に事業費の15%以内の嵩上げ補助
 - 森林の集約化事業 森林の団地化に対しての補助 1haあたり15,000円
 - 作業道開設補助 森林整備のための作業道の開設について事業費の2/3以内の補助

□ 林道開設・改良事業

森林整備を促進するために、林道の開設工事・改良工事を実施し、林内路網の整備に努めます。

・ 林道開設工事:天白高鳥谷線 L=150m W=3.0

継続

20,659千円

・ 林道改良工事:古城線 L=100m

【平成26年度補正 林道事業分】

拡充

39,151千円

・ 林道補修事業:林道21路線の維持管理

継続

5,984千円

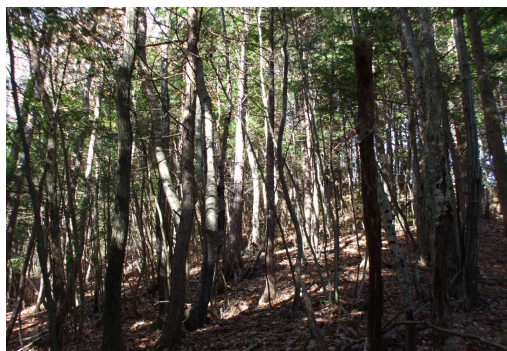
□ 市有林造成事業

継続

3,129千円

市有林の森林整備、維持管理を実施します。

- 内容:
- 大曾倉市有林 間伐5ha
 - 市有林の境界明確化等



森林整備(間伐)実施前



森林整備(間伐)実施後

② 治山治水事業の推進

【予算額 0千円】

集中豪雨などによる土砂災害を防ぐため、自然環境の保全と適切な整備で保安林の防災機能を強化するため、現地調査等を実施し治山工事等の計画的な実施に努めます。

【主な事業】

☐ 治山総合対策事業(県事業)

☐ 保安林改良事業(県事業)



治山事業実施前



治山事業実施後

③ 森林被害の防止対策の推進

【予算額 36,315千円】

有害鳥獣による農林被害を軽減するため、シカなどの個体数調整の促進や、松くい虫などによる被害から森林を保護するため、薬剤散布と被害木処理により緑豊かな森林の保全と景観形成に努めます。

【主な事業】

☐ 野生鳥獣対策事業

拡大

618千円

内容: 鳥獣被害対策実施隊報酬、有害鳥獣駆除従事者特別障害保険等

☐ 松くい虫対策事業

継続

35,697千円

内容: 枯損木の処理(市内全域)、薬剤散布(東伊那地区)、樹幹注入薬剤補助

④ 森林資源の多目的活用

【予算額 8,232千円】

地域産材の公共建築物への利用や、木質バイオマスなどの多様な用途への利用を促進し、農業、商工業、観光との連携により広域的な交流を促進し、森林空間の有効活用と森林資源の多様な利活用を図ります。

【主な事業】

☐ 林業振興事業

継続

683千円

ペレットストーブ購入補助等

☐ 森林の里親促進事業

拡大

7,549千円

里親企業の協力を得て、市内の森林整備を実施します。また、市民の皆さんが森林に親しむ機会を提供していきます。